日本サーバス本部会報

2021.6　日本サーバス会長 ＮＳ

今年の梅雨はまた昨年とは違い、ところによっては暴風雨などもあって、大変な状況ではないかと案じています。コロナワクチン接種も始まり、オリンピック問題も不安定ですね。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

「コロナ後の食と農」吉田太郎著（築地書館）を読む機会があり、この時期、大変心に響きました。コロナ後の経済や株価のＶ字回復ばかりが心配される日本ですが、世界に目を転じてみると「コロナは自然生態系から人類に向けて発せられた目覚まし時計だ」という論調も多いそうです。コロナ禍を「グローバルなフードシステムの脆弱性をあからさまにした人類に対する目覚まし時計」とみなし、この本では「今こそレジリエンス(跳ね返す力、困難を超え適応する力)のあるフードシステムへシフトせよ」と提言していて、インスパイアされました。

私事で恐縮ですが、2013 年にケニアでの有機農業プロジェクトが中断され、日本に帰国するようになったとき、日本で住む家をインターネットで探しました。検索ワードは「田舎暮らし」、その条件としては、「原発から遠い」「地震は日本ではどこも避けられないかもしれないが、津波は海から遠いなら避けられる」「畑を借りることができる」としました。

この条件でヒットしたのが今住んでいる三重県津市の家です。最初は、特急が止まる駅なのに、駅前にお店が一軒もないので、はじめから買い物難民でした。車もなかったので、最初の３年間は自転車生活。おかげで足腰は自然に鍛えられました。畑も知り合いが増えるにつれて、近所の畑を３か所も、季節の贈答品だけでお借りしています。車を手に入れた後は、近くにある温泉に、ほとんど毎日行けるし、野菜は自然農法で栽培した無農薬の健康な野菜を毎日食べられます。地震は今までの７年間、ほとんど感じたことがありません。なんてラッキー！と、この地との出会いに感謝しています。

何かの本で読んだのですが、「都会は人間が自然をしのいでいる。山奥は自然が人間をしのいでいる。ちょうどいいのは、自然と人間が共存できる里山だ」というのです。その里山で自然を友とし、自然の恵みをいただける環境に大変心が満たされています。

最近 SDGs という言葉が気になっています。子や孫やそれ以降の世代にサステナブルな地球を残すために私たちができることは何か？これはサーバスの活動にも言えることではないか。ということで、周りの人たちの活動を見回したときに、そのことに共鳴してくださる方が次々に見つかっています。

SDGs に関して、今回は東北支部長の T さん、前会長の H さんにとても素敵なエッセイを書いていただきました。項目 3. で紹介します。また、サーバス旅行もままならない現在ではありますが、コロナが収束したら行ってみたい旅行先を探している方も多いのではないでしょうか。国

内の名所を紹介するコーナーを設けました。
　今回は東海北陸支部の O さんに英文でリトルワールドを紹介していただいています。

今回の会報は、次の内容でお届けします

1. 国際サーバスの Motion(議案)1~5 に対する日本サーバスの遠隔投票　ＮＳ
2. 国際サーバス会報の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　国際部チーム
3. SDGs に関するエッセイ・・・・・・・・・・・・・SDGs って何？　ＴＮ
　全ての人がその人らしく生きる　ＨＴ
4. 国内の名所のご紹介(英文)・・・・・・・・・“LITTLE　WORLD”　ＯＴ
5. あとがきにかえて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　ＮＳ

1. 国際サーバスの Motion(議案)1~5 に対する日本サーバスの遠隔投票

　Motion と翻訳議案は以下の通りです。

Motion 1	New Funding Model (国際サーバス本部への拠出金算出方法の変更について)
Motion 2	Approval of 2019-20 Financial Accounts etc（決算書への承認）
Motion 3	Tanzania membership status （サーバスタンザニアをメンバーグループとして承認する件）
Motion 4	Authorize holding Extraordinary GA (E-SIGA) in 2021 （遠隔方式による臨時国際総会の開催）
Motion 5	Standing Accounts DV Motion each year （会計報告の時期変更について）

　この件については昨年度に引き続き、本部役員会で話し合ってきました。今年度は、国際部の皆様に、各 Motion の翻訳をしていただき、役員間の理解も、スムーズに進みました。4 月 25 日、5 月 1 日、5 月 9 日には 7 支部長も交えての拡大役員会で Motion の説明と本部役員会の見解を示し、Motion の投票に向けて、話し合いを進めました。特に Motion1 については、今後の日本サーバスの財政や支部会員の負担にも関係があることから、支部長からいくつか質問が出されましたが、会員の負担をより少なくするために、今後とも議論を続けていきます。会員の皆様にもいろいろご相談することになると思いますので今後ともご協力をお願いいたします。
　5 月 30 日には国際サーバスへ上記の 5 つの Motion に賛成という遠隔投票（DV）を提出しました。
　6 月 8 日には以下の Motion 結果速報メールが DV Administrator, C P さん作成の添付をつけて SI 事務局長の K さんから送られてきました。

要約すると

投票資格のある国に投票用紙が送られ、58 か国から返事が届き、投票率は 81%でした。採択されるには、72 か国中 10 分の 4、すなわち 28.8 か国の賛成が必要で、下記に見られるように 5 つの Motion が採択となりました。

内訳

Motion1　賛成 39、反対 13、棄権 5、無効 1

Motion2　賛成 54、反対 0、棄権 3、無効 1

Motion3　賛成 57、反対 0、棄権 0、無効 1

Motion4　賛成 55、反対 0、棄権 2、無効 1

Motion5　賛成 52、反対 0、棄権 5、無効 1

２．国際サーバス会報の紹介

国際サーバスの NEWS BULLETIN につきまして、国際部の皆様のご協力を得て、要旨翻訳が完成いたしました。

国際サーバス会報（Vol. 20_2021　No.1）要約

担当：国際部チーム

国際サーバス（SI)では News Bulletin(会報）を英語、スペイン語、フランス語で制作し、各国サーバスに配信しています。日本サーバスは英語版を会員に配信しますが、他の言語で読みたい方は SI の Web ページをご覧ください。https://www.servas.org/en/newsletters-bulletins

以下は日本サーバスの会長委嘱プロジェクトチームである「国際部」で要約、紹介したものです。興味のある部分や写真のキャプションだけでも原文をご覧ください。

巻頭の 4 名のポートレートについては該当の記事をご覧ください。

（１）　Gender Equality by J S

P.3-4　男女共同参画とサーバスのかかわりについて、SI 会長 J S の論説です。この内容は日本サーバス会報 2021.4 に会長が全文を紹介しています。

（２） Servas at UN Women’s Conference

P.5-6　国連の「女性の地位委員会」(UNCSW)はSIの平和活動の主要な舞台となっており、今年3月15-26日にオンライン開催された第65回会合には32名の各国会員が（日本からは会長、前会長、ユース部長が）参加しました。記録はSIホームページに新設されたプラットフォーム「Confluence」で紹介されます。

（３） Turkey Peace School

P.7-8　トルコサーバスは、2009年以来「Servas Peace School Program」を主催しており、昨年は7月2～20日にオンラインで5～14才の児童64名と、ボランティア指導員45名が参加して、異文化理解など46のワークショップで大きな成果をあげました。

（４） SI Financial Report

P.9-10　SI会計担当役員による報告です。1) 財務方針の変更が提案され、今年5月の遠隔投票にかけられています。2) 2020年中の認定スタンプによる収入は54,000スイスフラン（CHF)弱で、オーストラリア、カナダ、スイス、スペインのサーバスから5,000CHF余の寄付を受けました。3)例年の支出は75,000フラン規模ですが、昨年はServas Onlineに関する出費が少なかったので収支に余裕があり、来年開催予定の総会の費用も賄えるはずです。一般的に3年分の支出に相当する銀行預金を確保しておくことが望ましいと言えます。

（５） Servas Canada

P.11-16　カナダサーバス(CS)からの記事　1)　CSの会報が５年ぶりに復活しました。 2) CSはブラジルサーバスのエッセイコンテスト「環境と平和とCovid-19」を援助しました。3) サーバスの会費制度について各国からの意見を募集しています。4)　CSとイタリアサーバスの会員のE-mailによる交流の紹介です。5)　スーパーホストＭＪのトラベル／ホストレポート4件。同氏のレポートはP.29にもあり。

（６） What Servas Means to You

P.17　ドイツのＬ夫妻はサーバスの現状と将来について考察し、平和と環境に対する責任をより強く自覚すべきだと論じています。

（７）Saskia and Orange Dragon Foundation

P.18 オランダサーバスのＳは、厳しい治療でガンを克服する中で世界一周の夢を実現する決意を固め、愛犬とともにヨーロッパからアフリカへ、次いで南米を目指して出発しました。

（８） Tale of Two Citizens: 18 and 90

P.19　ベルギーの90才ＰＨと、スイスの18才ＣＴの紹介です。

（９）Servas Spain

P.20　スペインの90才ＪＧ、フランスの92才Ｉ、オーストラリア97才Ｗの紹介です。Ｗさんはエチオピアのハイレセラシエ皇帝（写真）にそっくりのトラベラーを受入れたことがあるとのこと。

（１０）Servas at the UN in Geneva

P.21　ジュネーブの国連欧州本部におけるSI代表ＤＤは、昨年9月の人権委員会第45回会合に意見書を提出しました。SIホームページに報告があります。

（１１）Critical Problems and Civic Education

P.22　ニューヨークの国連本部への SI 代表 G R が、平和と正義をスローガンに終わらせないために「Civic Education」の重要性を論じています。

（１２）New Key People

P.23-24　新規加盟を申請中のタンザニアサーバスと、2021-23 年任期のメキシコサーバス役員を写真入りで紹介します。併せて SI 会報の新編集長 M J と、引退した SI Dolphin チームメンバーR D の紹介です。

（１３）Violette Impressed Me

P.25　前号で紹介されたフランスの 103 才の現役ホスト V G（とその亡夫）に、2003 年に入会インタビューを受けたロシアの A T の想い出話です。

（１４）Servas France’s New Websites

P.26　フランスサーバスは 2011 年に創設したウェブサイトの更改作業を進め、今年 1 月に一般向けと会員用の 2 種類として完成しました。

（１５）Cuba, the UN and Servas

P.27　キューバに対する米国政府の硬直した対応と、両国民の友好を求める活動について、米国サーバスのピースセクレタリーY M の見解です。

（１６）Great Things in US Servas

P.28　米国サーバスの D S が、コロナ禍の中で、SOL を通じて共通の関心を持つ友を見つけたり、オンラインミーティングを企画して在宅のまま交流を楽しむ様子や方法を紹介しています。

（１７）How was your Year?

P.29　「2020 年はどんな年でしたか？」との問いに、SI の J 会長は家族が見守る前で氷風呂に浸かる写真を、会報の M 編集長はサハラ砂漠旅行の写真を投稿しました。

（１８）How to Tackle “The Beast”

P.30　SI は本部の活動 90 ページと各国のカントリーレポート 220 ページ余の計 322 ページの年次報告をウェブ上で公開しています。カナダサーバスの会計役員 C F はそれを「the beast」と呼び、その攻略法・楽しみ方、を披歴してくれました。

（１９）P.31-32　奥付にあたるページです。　　以上

3.SDGs に関するエッセイ・2 点

１）SDGs (Sustainable Development Goals)って何？

東北支部　Ｔ Ｎ

最近、≪SDGs(ｴｽﾃﾞｨｰｼﾞｰｽﾞ)≫という言葉をよく聞きますよね。某テレビ局では『地球を笑顔にする WEEK』として特集していたり、SDGs をテーマにした企業 CM が放送されていたり、世の中の関心が高まっているな、と感じます。

さて、≪SDGs ってなに？≫答えは、【2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標】です。SDGs を日本語で正式に言い換えると【持続可能な開発目標】となります。

…わかりづらいですね。もう少し簡単に表現すると、【世界中の環境問題や差別、貧困などの課題を、2030 年までに世界のみんなで協力して解決していこう】という目標のこと、となります。
2015 年 9 月に国連サミットで、全会一致で決められました。

SDGs は「社会・経済・環境」の３つの問題に取り組んでいます。

社会問題　…　「貧困」「飢餓」　「教育」など
経済問題　…　「エネルギーや資源の有効活用」「働き方の改善」「不平等の解消」など
環境問題　…　「地球環境」「気候変動」など

「社会・経済・環境」の３つの問題を解決するために **17 の目標**を定めました。
カラフルな四角が並んでいる画像を見たことがある方もいらっしゃると思います。
この **17 の目標**をさらに細かくわけると **169 のゴール**に分かれます。

SDGs は世界共通の目標です。持続可能な開発目標といわれています。発展途上国も先進国も、もちろん日本も積極的に取り組んでいます。

SDGs は地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。地球に住むすべての人に関係あることなのです。政府のみならず自治体・企業・市民社会全体で取り組むこと。SDGs 達成は一人ひとりの行動に委ねられています。

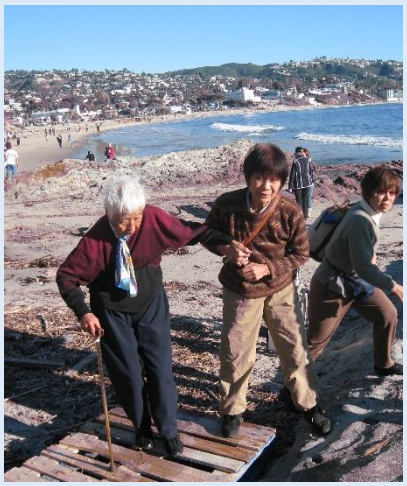
2）全ての人がその人らしく生きる

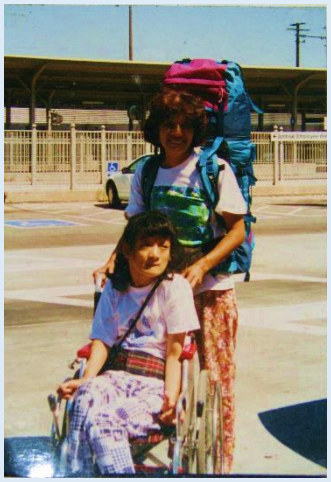
近畿支部　Ｈ Ｔ

韓国　ミラク山頂にて

ある時、Zoom ミーティングで母が車いすを使用してサーバス旅行をしている話をしました。国連 SDGs を心に留めていられる N 会長より、その事を本部会報にと言われ、今日ここで皆さんに紹介する事になりました。けれども、私の母が亡くなったのは 10 年も前なので、今と色んな事が変わっています。例えば、今は障がいがあり介助が必要な時は、殆どの電車の駅で駅員さんが介助して下さるし、京都の市バスは殆どノンステップバスになっています。そんな違いはありますが、障がい者の支援学校に勤めていた経験も交えて、感じた事を報告させていただきます。

私は父が亡くなり母が 80 歳で実家に 1 人になった時に同居しました。母は体は悪くないのですが、歩くのが遅いので、外出にはよく車椅子を利用して、私が押していました。92 歳で亡くなるまでサーバス旅行を楽しみました。車いすは平坦な道は問題はありませんが、スロープやエレベーターの無い駅では、階段になると母の安全のため、私が母と一緒に階段を上った後、駅員さんに頼んで二人で車いすをホームまで持ち上げました。飛行機では、エコノミークラスの券でも、席が空いていれば母と私に 2 席ずつ下さったり、ビジネス席に座らせていただいたり親切な配慮がありました。反対に車いす使用者は飛行機には全ての乗客に先んじて乗り、最後に降りるようになっているので、乗継便に間に合わない時もありました。また、日本で自由席のコンサート等では、皆さん席を取るのに並





んでいらっしゃるのですが、車椅子は優先入場なので 10 分位前に行くと、最初に入場出来るという嬉しい事もありました。

旅行での事です。韓国で地下鉄へのエレベーターを探していると、何人かが来てくれて、母をおぶい、他の人が車椅子をおろして下さいました。やはり韓国は年寄りを大切にする国だなぁと思いました。アメリカやヨーロッの公共交通機関では、車いすで乗降に時間がかかっても、乗客は気長に待ってくれました。一人で乗りにくい人が来ると、運転手は運転をやめ、その人が乗るのを手伝うという日本では考えられない事がこともなげに行われていました。私が障がい児の学校（支援学校）に勤めていた時、修学旅行は生徒たちの憧れの東京のデズニ―ランドへ新幹線を使って行っていました。短い停車時間に乗り終えねばならないので、教師は担当の車いす使用生徒と幾つもの電車の入り口に分かれて乗るという大変さでした。旅行をして秒という単位があるのは日本位だと感じる事がよくあります。2005 年の JR 福知山線で乗客と運転士合わせて 107 名が死亡、562 名が負傷した脱線事故を覚えていられると思いますが、これも秒単位の運転という事も一因だと思います。

ヨーロッパのサーバスホストの所に泊まった時、自国ではこの年になった老人は家にいて人が来てくれるのを待つだけなのに、遠くまで出てくるってすごいなぁと、褒めていただいいただきました。グランドキャニオンでも日本から旅行で来ていると言うと感心して、ハワイから来た人が母にレイをプレゼントして下さいました。韓国のトンヨンでミラク山（461m、韓国 100 名山の 1 つ）に登った時、韓国でもこの歳で登ってくる人はまれだとほめて頂きました。行った先々で色々お世話をかけましたが、学ぶ事があると言う嬉しい言葉もいただきました。

私は車いすを使用している女性の障がい者とアメリカへ旅行しました。彼女は座る事は出来ますが、立ったり歩いたりは出来ません。サーバスメンバー宅に多く泊まりました。ホストリストに、“wheelchair welcome”と言う表示がありました。私は洋式の生活スタイルでは普通である洋式トイレ、ベッド、テーブルがあれば、それで車いすは十分対応出来るのに、“wheelchair welcome”とはどういう意味かと思いました。ホスト宅を訪れると 1 段の段差でもスロープが用意されていました。日本では 1 段の段差は車いすの前輪をあげて対応していたので、驚きでした。ある時彼女の車いすを押しながら道を歩いていると後ろに車が来ました。私は自然に道の端に行き、進路を車に譲りました。するとサーバスホストは怪訝な顔をして、「なぜ道の端に行くのか」と聞かれました。私は「車いすは速度が遅いから」と言うと、「あなたも 1 人の通行人でしょ。順番通りに行ったら良いではないですか」と言われました。日本では車に道を譲るのが常識だったので、「あーこれがみんな同じ人間だ

という事か」と思いました。

その時一緒に行った女性は、日本では彼女を見ている視線を感じる事があるけれども、こちらは非常に自然で、快く外出出来ると言っていました。

学校で座位不可の生徒のトイレの介助の時、薄着なので「風邪をひくよ」と注意すると、「私が重くなったら先生また腰痛になるでしょう。」と言うのです。支援学校に来る生徒の中には、寝返りも自力で出来ず、呼吸するのが精いっぱいという生徒もいますが、皆生きる努力をしています。そんな彼らといると、本人にとっては大変な事があると思いますが、そうだからと言って自殺するなんて何という贅沢かと思ったり、怒りさえ覚えました。

サーバスに多額の寄付をして下さった目が悪いTさんが、「苦労した分だけ見えないものが見えてくるのも事実です。そう考えると苦労もまた良し、不幸もまた良しだと言えるのかもしれません。目が見えているから幸福だ、目が見えていないから不幸だとは一概に言えないようになりました。」と言っていられます。

私はこういう出会いを通じて学ぶ事が多くありました。

小さい子供が生まれた時、親は全面的に世話をする側で、子供は世話を受ける側です。でも、子供の存在は大きな喜びで、誰も子供の世話をするのが大変だと思わず、与えられる幸せを大きく感じています。このように、世話をする側、される側と言うのではなく人間関係の中からお互いに学ぶ事がたくさんあります。みんなで良き関係を持ち、自然に寄り合える社会であればどんなに良いでしょう。それぞれの個性を尊重しあい、一人一人がその人らしく豊かに生きていく事、それはいわゆる弱者のためだけではなく、全ての人の幸せに通じる事だと思います。

今、よく問題になっている人種差別やジェンダーの問題も、同じ様に考える事が出来るのではないでしょうか。

私が障がい者の女性と旅した記録を「No Paradise On The Earth―アメリカ見たまま、感じたまま―」という題名を付けてレポートしています。（日本サーバス50周年誌に記載）その終わりに「私が得た大きな事は、楽園は簡単には存在しないという事、たとえ楽園があろうとも、それを守ったり、より良くする努力なくしては、それはいとも簡単に潰れます。」と書いています。これは何も障がい者に限った事ではなく、私たちを取り巻く全ての事について言えるしょう。

私も皆さんと手を携えて、諦めずにより良き社会を求めて日々過ごしていきたいと思います。

韓国の国内大会であいさつをする母

４．国内の名所紹介 “LITTLE WORLD(愛知県犬山市)”

東海北陸支部　　ＯＴ

We traveled the "World" today!
As we can't go abroad freely now, we visited "Little World", a theme park which is located only 30 mins by car from our place!
We visited...
Germany, France, Italy, West and South Africa, Bhutan, Nepal, Turkey, India, Thailand, South Korea, Taiwan, Bali(Indonesia), Peru, North America in one day!
There are some local foods at each country section, we enjoyed eating as well!
Our son walked a lot (4 hours and half!), so he is still having a nap time until now!
One day in the near future, I really hope we can travel around the world freely!!!

Alsace (France)

Taiwan

Bali

５．あとがきにかえて

会長　　ＮＳ

会長就任早々から、前年度からの引き継ぎ事項である国際サーバスの Motion の解読やそれについて討議するという、難しい課題に取り組まなければならないことになりました。Motion の翻訳に関しては国際部の皆様に大変お世話になりました。また、Motion について討議するために毎週役員会をオンラインで開き、役員の皆様からはお時間とお知恵を拝借し、５月末の提出に持ち込みました。また７支部長様には拡大役員会に２回ご出席いただき、今後の課題を出していただきました。国際サーバスよりすべての Motion が採択されたという速報が入りましたので、これから Motion1 の 国際サーバスへの拠出金がほぼ３倍になることに関して、国内の予算の見直し、計画を進めないといけません。今後とも会員の皆様のご意見をうかがう事案が増えていくと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

以上